取扱説明書のダウンロードサービスは「以下のご利用条件」に
ご同意頂いた上でご利用下さい。

＜ご利用条件＞

本サイトに掲載している取扱い説明書は、代表的な安全帯の説明書を
掲載しております。

よってすべての製品の取り扱い説明書を掲載しておりません。

また、ご購入時の製品に同梱されている取扱い説明書には、その製品
独自の補足的な取扱い説明書を同梱している場合もあり、購入時の
取扱い説明書内容と異なる場合があります。

本サイトの取扱い説明書は、製品に同梱されている取扱い説明書の
補足的情報としてご利用ください。

また、掲載している取扱い説明書は最新の内容でない場合もあります。

掲載している取扱い説明書以外の取扱い説明書のお取り寄せ、及び、
ご質問は弊社「お問合せ窓口」までご連絡下さい。

TSUYORON

取扱説明書

保管用

ウルトラロックの使用者及びその管理者の方へ
ご使用前に取扱説明書を必ずお読みいただきよくご理解の上お使いください。万一取扱説明書がない場合は、販売店か発元へご請求ください。

高所作業専用－プロユース－

説明書No. F601a

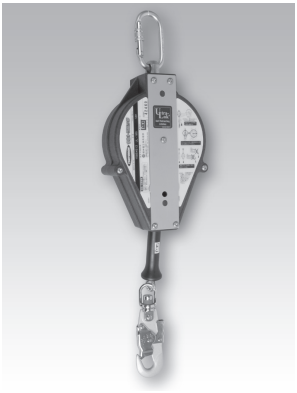
ツヨロン® ウルトラロック

いつでも活用できるよう大切に保管してください

このたびは、《ウルトラロック》をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。このウルトラロックは、鉄塔等の高い構築物や、ビル・ダム等の建設現場の昇降時の墜落防止器具として製造したものです。本品を正しく安全にお使いいただくため、**ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。**
なお、**「5.必ずお守りください(使用上の注意事項)」は事故を未然に防ぐためにとても大切ですので、よくご理解の上ご使用ください。**また、**ご使用に際して、「6.点検のしかた」にしたがって、点検を行ってください。取扱説明書を紛失された場合は藤井電工（株）に請求してください。**
また、より安全なご使用のため、労働安全衛生総合研究所技術指針「安全帯使用指針」（NIIS-TR-No.37（2004））の併読をお奨め致します。

弊社の安全帯ならびに墜落防止器具の使用につきましては、下記のような特殊な環境下においては、設計上の性能・機能が十分確保されない状況が発生することが考えられます。特殊な環境下でお使いになる場合は、藤井電工（株）の「お客様相談窓口」までお問い合わせ下さい。

特殊な環境下：（1）金属類に錆びの発生しやすい海上や海岸地域での使用、（2）摺動部の作動に悪影響をおよぼす可能性がある土砂等の付着しやすい現場での使用、（3）繊維類の劣化が考えられる高温域での使用、（4）酸やアルカリの付着が考えられる現場での使用など。



形状は一例（UL－10S型）を示します。

もくじ

1. 用　　途 ……P.2
2. 構造および各部のなまえ ……P.2
3. 仕　　様 ……P.2
4. 使 い 方 ……P.3
5. **必ずお守りください（使用上の注意事項）……P.4**
6. 点検のしかた ……P.9
7. 保管・手入れのしかた ……P.11
8. 交換のめやす（耐用期間）……P.11
9. 性　　能 ……P.11
10. オプション ……P.12
11. お客様相談窓口 ……P.12

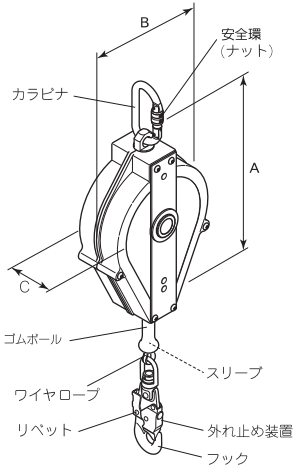
販売元 FUJII DENKO

製造元 DBI SALA® A CAPITAL SAFETY BRAND MADE IN USA

1. 用　　途

ウルトラロックは、鉄塔等の構築物や、ビル・ダムの建設現場の構造物に取り付け、フックを安全帯のB環（D環）・ロリップ環に連結して、昇降時の万一の墜落を阻止する器具です。その他の用途には使用しないでください。

2. 構造および各部のなまえ



形状は一例を示します（UL-10S）

（注1）台付ロープ・引寄せロープは、弊社製をお使いください。

・台付ロープ＝ナイロンφ14mm×1m
（FS-51Lフック付き）

・引寄せロープ＝φ4mm

（注2）ウルトラロック本体はカラビナ付き（一般型）の他にUシャックル付きもあります。

（注3）ゴムボールが傷んだら取替用ゴムボールがあります。

標準装備

台付ロープ

引寄せロープ

オプション

Uシャックル

取替用ゴムボール

3. 仕　　様

型　式		UL-10S	UL-12S	UL-15S	UL-20S	UL-25S	UL-30S
ワイヤロープ長さ(m)		10	12	15	20	25	30
ワイヤロープ径　(mm)		φ4.3(ステンレス)					
ケ　ー　ス　材　料		プラスチック				アルミダイキャスト	
ケースサイズ	A　(mm)	290		323		343	
	B　(mm)	176		201		274	
	C　(mm)	84		91		117	
質　　量(重量)(kg)		4.9	5.1	6.3	6.7	13.1	13.5

●型式の選定に際しては、使用現場の最大移動距離よりも約1m長いタイプをお選びください。
●本品は、総重量35kg以上、120kg以下を対象として設計されています。
総重量120kgを超える場合は、お客様相談窓口にお問い合わせください。

4. 使　い　方

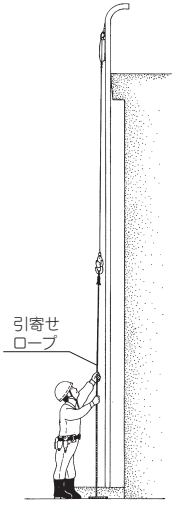
(1)ウルトラロックのフックに引寄せロープを取り付ける。
引寄せロープはウルトラロックを使用する時、ウルトラロックのフックを引き寄せるためのものです。

(2)ウルトラロックを構造物に取り付ける。
作業員が昇降する位置よりも高い位置のしっかりとした構造物にカラビナや専用の台付ロープで取り付けてください。

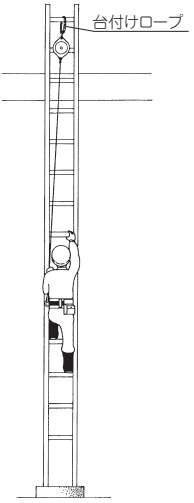
(3)ウルトラロックのフックを安全帯のB環（D環・ロリップ環）に掛ける。フックがB環（D環・ロリップ環）に掛かっていることを目視で確認してください。

(4)梯子またはステップボルト等を昇降する。
⚠ロック機能を確認するため、昇降前にワイヤロープを少し早く引き出し、ロックすることを確認してください。
※ 警告参照

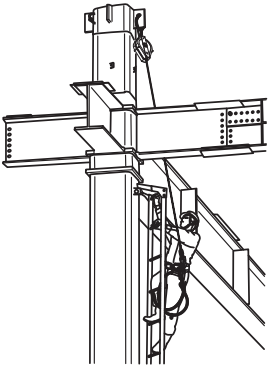
使 用 例



フックをたぐり寄せている状態



梯子の昇降状態

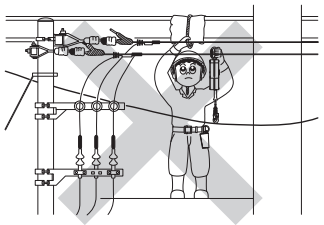


構造物への昇降状態

5. 必ずお守りください（使用上の注意事項）

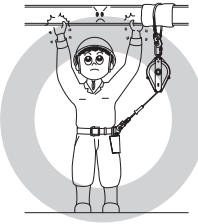
⚠危険　**重大な事故につながる危険性がありますので、次の事項を厳守してください。**

電線等に触れる場所で使用しないでください



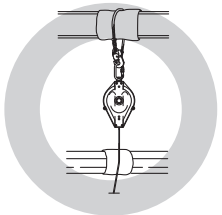
●ワイヤロープが電線（活線）等に接触する可能性のある場所では、感電する危険性がありますので、絶対に使用しないでください。

ウルトラロックはしっかりとした構造物に取り付けてください



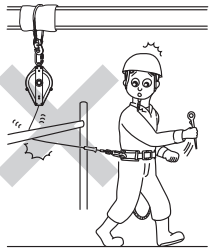
●弱い構造物に取り付けると、落下時の衝撃により構造物が破損し、墜落阻止できない危険性があります。ウルトラロックは必ず強固な構造物にしっかりと取り付けてください。

鋭いエッジがある場合はパッド等で保護してください



●台付ロープの取付部やワイヤロープ接触部に鋭いエッジがあると、万一の落下時に台付ロープやワイヤロープが切断する危険性があります。必ずパッド等で保護してください。
（プレート･アングル等の切断面およびL65以下のアングル）

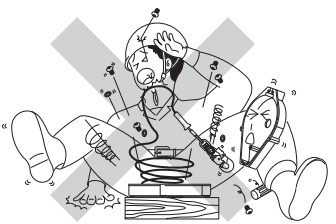
ワイヤロープが障害物に引っ掛る場所では使用しないでください



●障害物に接触した状態で使用すると、落下距離が長くなったり、身体に絡んで危険な状態が発生します。

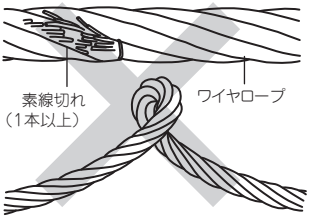
分解・組立または改造はしないでください

●ご自分で分解・組立または改造をすると、本来の機能を失うおそれがあります。また、内蔵されたばねが飛び出して大ケガをする危険性がありますので、絶対にしないでください。



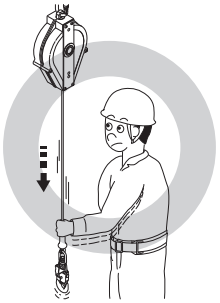
サビや素線切れやキンクが発生したワイヤロープは使用しないでください

● サビが発生した場合、素線は屈曲により急激な強度低下が起こり、破断につながる危険性がありますので特に注意してください。
（ゴムボールの中のスリーブ際も調べてください。）又、サビが発生していなくても、素線が1本以上切断したり、キンクの生じたものは、強度が不足し墜落阻止できない危険性がありますので、ワイヤロープ全体を廃却してください。
ワイヤロープの取替えは、必ず藤井電工（株）へお申しつけください。



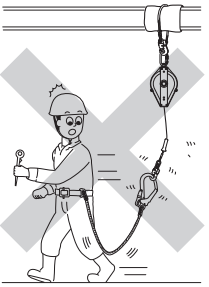
⚠警告　ご使用にあたって、次の事項は厳守してください。

ワイヤロープのロック機能の確認をしてください



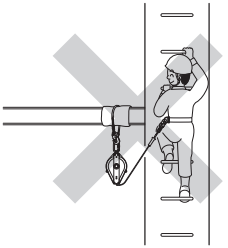
● 昇降前にワイヤロープをすばやく引き出し、ロックすることを必ず確認してください。

ウルトラロックのフックは安全帯のリングへ直接連結してください



● ウルトラロックのフックは安全帯のB環（D環）またはロリップ環へ直接連結してください。

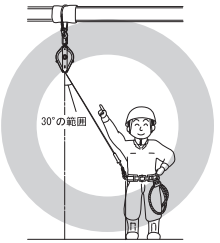
ウルトラロックの取付点より、上に上がらないでください



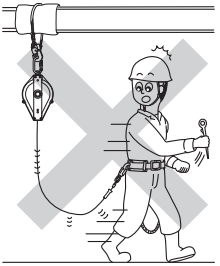
● 取付点より上に上がられますと、墜落阻止時に衝撃荷重が大きくなり人体に損傷を及ぼすおそれがあります。

ウルトラロックの取付点から30°以下の範囲内で使用してください。なお、15mを超えるものについては水平移動距離を8m以内にしてください

● 範囲を超えての使用は万一の落下時に振り子状態が大きくなり他の構造物にぶつかるおそれがあります。
● 30°は移動距離が引き出し長さの半分となった時をめやすとしてください。

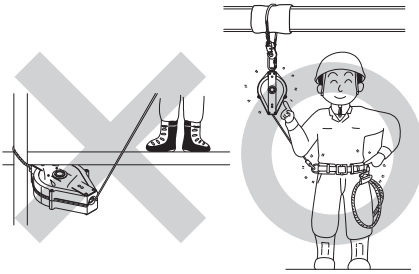


ワイヤロープにたるみが生じたままで使用しないでください



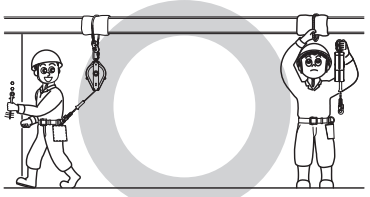
- ワイヤロープがたるんだ状態で使用すると落下距離が大きくなります。たるみが生じた場合はワイヤロープを少し出し入れすれば、たるみが無くなります。
- ワイヤロープがたるんでいると、身体に絡むおそれがあります。

ウルトラロックは腰よりも高い位置に取り付けてください



- ウルトラロックの取付点より高い位置で作業しないでください。
- ウルトラロックを腰よりも低い位置にセットした場合、落下距離が長くなり、作業者に加わる衝撃荷重が高くなります。

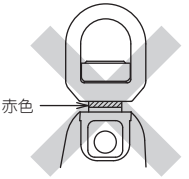
ウルトラロックは他の作業者のじゃまにならないところに取り付けてください



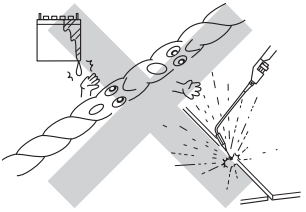
- 他の作業者のワイヤロープと交差すると、落下時にワイヤロープが絡んで切断したり、他の作業者を巻き添えにするおそれがあります。

一度でも大きな荷重が加わったものは使用しないでください

- 墜落阻止により大きな荷重が加わったものは、内部に亀裂や変形が生じているおそれがあります。藤井電工(株)の検査を受けるまでは使用しないでください。
- フックの回転後部の所に隙間ができ赤色の部分が見えたら大きな荷重が加わっているので使用しないでください。



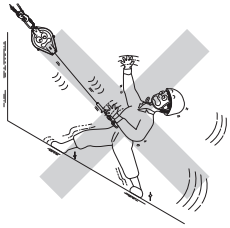
火気に近い場所や薬品・水・油等が付着する場所では使用しないでください



- ウルトラロックは火気・薬品等に影響されると強度低下を招きます。また、大量の水や油によってロック機能が作動しなくなるおそれがあります。

傾斜面での使用は注意してください

●ウルトラロックは、階段や斜面・屋根などの傾斜が緩い場所ではワイヤの引き出し速度が遅く、ロック機能は働かない場合があります。



ワイヤロープを構造物に何度も接触させたり巻き付けたりしないでください

●ロック機能が働かず、墜落阻止できないおそれがあります。

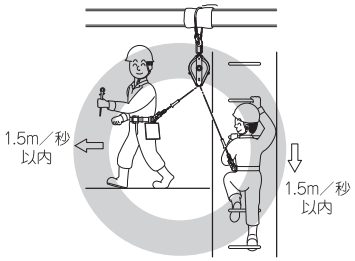
ウルトラロックを水平親綱として使用しないでください

−10℃～50℃の範囲で使用してください

●フックや本体（ワイヤロープ）などが水に濡れて凍結すると、外れ止め装置やロック装置が働かないおそれがあります。また使用中に凍結するおそれのある場合も使用しないでください。
●台付ロープ等が熱い構造物に触れないようにしてください。

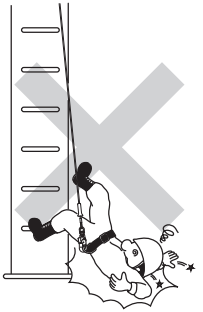
⚠注意　安全にお使いいただくため、次の事項を守ってください。

移動速度は、縦・横・斜め方向とも1.5m／秒以内としてください



●速く移動すればロック機能が働き、体のバランスを崩す場合があります。また開口部の飛び越えなどはしないように、ゆっくりと移動してください。

地面近くでは昇降に注意してください



●墜落阻止時の落下距離にはワイヤロープの繰り出し量（200～600ｍｍ程度）が加わりますので、地面近くでは地面に衝突する場合があります。

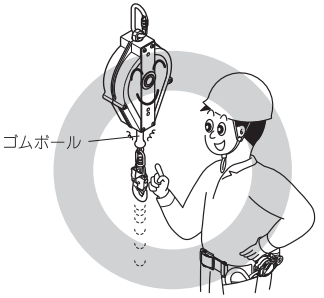
作業前には必ず始業点検を行ってください

●始業前には、**「6.点検のしかた」**を参考にして点検を行ってください。処置を必要とする場合は、部品の修理や交換を行ってから使用してください。

移動中または作業中にワイヤロープを腕や足の下に通さないでください

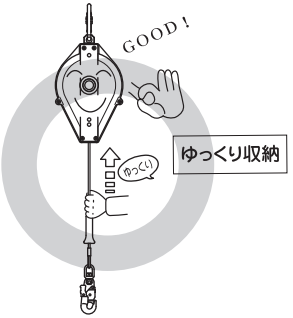
●移動中や作業中にワイヤロープに絡まり、バランスをくずす場合があります。

ワイヤロープは、ゴムボールまで確実に巻き取ってください



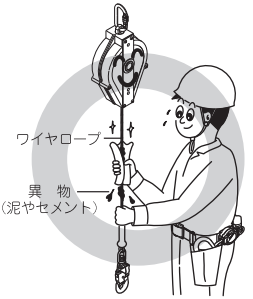
●使用後は最後まで巻き取ってください。
●巻き取れない場合は、ワイヤロープを少し出し入れして巻き取ってください。

引き出したワイヤロープはゆっくりと巻き取ってください



●勢いよく巻き取ったり、ウルトラロックを横にして巻き取ったりすると、ワイヤロープが乱巻きになり、巻取り、引き出しができなくなる場合があります。

ワイヤロープの異物（泥やセメント等）はすぐに取り除いてください



●異物（泥やセメント）が付着した場合は、すぐに拭き取ってください。そのままにしておきますと、ロック機能が作動しない場合があります。

丁寧に扱ってください

●放り投げたり落としたりしないでください。特にフックを下にして落とした場合、ワイヤのスリーブ際が屈曲し、繰返されますと劣化や素線切れの原因となります。

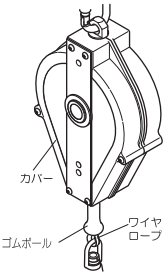
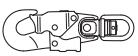
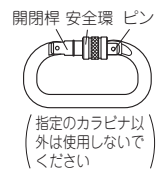
体重を預けたり、ぶら下がるような使用はしないでください

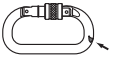
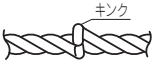
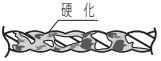
●ロック装置の故障の原因となります。

ウルトラロックは台付部が移動しないように確実に取り付けてください

6. 点検のしかた

- 使用前には点検項目について点検し、該当する場合は部品の修理または交換を行ってからご使用ください。なお、部品の修理や交換が必要な場合は藤井電工(株)へお申しつけください。
- ご購入後3年ごとに藤井電工(株)の定期点検を必ず受けてください。
- 一度でも大きな荷重が加わったものは使用しないでください。内部に亀裂や変形が生じているおそれがあります。藤井電工(株)の検査を受けるまでは使用しないでください。

点検箇所	点検項目（処置を必要とする状態）		処　置	理　由
ウルトラロック本体		ワイヤロープをすばやく引き出してもロックしないもの。	部品の交換	墜落阻止不可
		ワイヤロープを巻き込み・引き出しがスムーズに出来ないもの。		強度低下
		ワイヤロープが収納できないもの。		機能低下
		カバーが全体に変形したり、1mm以上のへこみがあるもの。また3mm以上の割れがあるもの。		強度低下
		全体にサビが発生しているもの。		強度低下 機能低下
		ゴムボールに割れ・損傷があるもの。		強度低下
安全フック		全体に変形したもの。または、変形により外れ止め装置や安全装置が完全に開閉しないもの。	部品の交換	墜落阻止不可
		ばねが折損または脱落して外れ止め装置や安全装置が完全に開閉しないもの。		操作性が悪くなる
		フックカギ部の内側に傷のあるものや外周に深さ1mm以上の傷のあるもの。		強度低下
		フック本体に割れのあるもの。		
		リベットの頭部が 1/2 以上摩滅しているもの。		
		ロープ連結環と本体の回転部のスキマが0.8mm以上あるもの。		
		全体にサビまたは著しい腐食が発生しているもの。		
カラビナ		安全環（ナット）のねじに損傷等の異常があるもの。	カラビナをお送りしますのでユーザーで取り替えてください	強度低下
		安全環の作動が不良なものや変形しているもの。		
		開閉桿の動きの悪いもの。		

点検箇所	点検項目（処置を必要とする状態）		処　置	理　由
カラビナ		ピンが緩んでいるもの。	カラビナをお送りしますのでユーザーで取り替えてください	強度低下
		摩耗・変形のあるもの。		
		深さ1mm以上の傷のあるもの。 		
		全体に赤サビが発生しているもの。		
ワイヤロープ		表面に異物（泥、セメントなど）が付着しているもの。	部品の交換	
	ワイヤロープは錆た状態で屈曲されると一気に強度低下が起きますので、ゴムボールやスリーブ際も念入りに点検してください。	ゴムボールを引き上げ、ゴムボールの内側のワイヤロープのサビ・素線切れ・変形があるもの。 ワイヤロープのスリーブに割れ・変形があるもの。	部品の交換	強度低下
		形くずれしたもの。		
		素線が1本以上切れたもの。 著しく摩耗しているもの。		
		キンクしたもの。		
		全体にサビが発生しているもの。		
台付ロープ		さつま編込部が緩んでいるものや1個所でも抜けているもの。 さつま編込み回数が3回未満になったものや形くずれを起しているもの。	部品の修理	強度低下
		ロープヤーンが7本以上切断したもの。 摩耗して棒状になっているもの。	部品の交換	強度低下
		キンクのあるもの。 ロープヤーンが飛び出しているもの。		
		塗料が著しく付着して、硬化しているもの。		
		薬品が付着したもの。 薬品により変色・溶解箇所があるもの。		
		シンブルがないものや変形しているもの。		

7. 保管・手入れのしかた

（1）ウルトラロックは次のような場所で保管してください。

ア）直射日光に当たらない所。
イ）風通しがよく、湿気の少ない所。
ウ）火気・放熱体などが近くにない所。
エ）腐食性物質と同室でない所。
オ）塵埃の少ない所。
カ）ねずみなど小動物の入らない所。
キ）その他、墜落防止機器の機能・強度に悪影響を及ぼさない所。

（2）物品の下積みなどにより傷や変形が起こらないようにしてください。

（3）台付ロープに、泥・埃・油などが付着している場合は、乾いた布などで拭き取ってください。

（4）本体・フックなどの金具類に付着した砂・土・水などを拭き取り、可動部に時々注油してください。

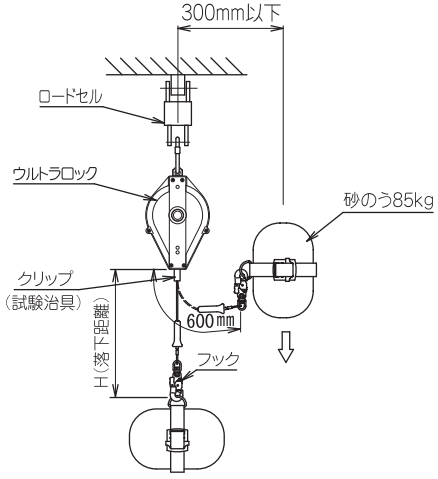
8. 交換のめやす（耐用期間）

ご購入後、3年経過ごとに藤井電工（株）の定期点検を受けてください。

ただし、定期点検以外にも**「6. 点検のしかた」**にしたがって点検を実施し、該当する場合は適正な処置を行ってから使用してください。

9. 性　　能

弊社の総合試験所において下記の試験状態で性能（強さ）を確認したデータです。



型　　式	最大衝撃荷重
落下衝撃荷重の平均値	$\overline{X}$＝4.0kN
落下距離（H）	1350mm

この試験結果は、独立行政法人労働安全衛生総合研究所発行の「安全帯構造指針」にもとづく試験方法で行なったもので、通常の使用状態（P3の使用例）で落下した場合のワイヤロープの繰り出し量は、約600mm程度です。

10. オプション

ツヨロン® フルハーネス安全帯

ウルトラロックと併用すれば、万一の落下の際、衝撃荷重が分散されて内臓への圧迫が軽減されます。
また、墜落阻止時の胴ベルトのずれ上がり・すり抜けを防止します。

R-510-S-DMS

R-502-N

注文番号	R-510-S-DMS	R-502-N
胴ベルト	なし	幅50mm
胴ベルトバックル	なし	ワンタッチ式
肩ベルト	幅45mm	
ショックアブソーバ	あり	なし
腿ベルト	幅45mm	
背部ネット	あり	なし
重　さ	約770ｇ	約1,390ｇ

11. お客様相談窓口

この取扱説明書の内容につきおわかりになりにくいときや、製品の取扱いについてご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店、または下記のご相談窓口にお問い合わせください。

藤井電工株式会社　URL=http://www.fujii-denko.co.jp/

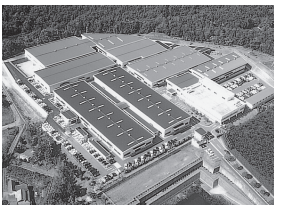
本　社　営　業　部	〒679-0295 兵庫県加東市上滝野1573番地2	TEL(0795)48-3360	FAX(0795)48-3409
東北地区　仙台営業所	〒983-0842 仙台市宮城野区五輪2丁目9番5号 五輪ビル	TEL(022)256-7001	FAX(022)295-7423
関東地区　東京支社	〒103-0004 東京都中央区東日本橋1丁目7番2号 長坂ビル	TEL(03)5821-2241	FAX(03)5821-2170
中部地区　名古屋営業所	〒460-0012 名古屋市中区千代田3丁目16番5号 ニュー千代田ビル1階	TEL(052)322-6081	FAX(052)322-6286
関西地区　大阪営業所	〒530-0041 大阪市北区天神橋1丁目8番13号 林ボタンビル	TEL(06)6882-3355	FAX(06)6242-2170
九州地区　福岡営業所	〒812-0008 福岡市博多区東光2丁目22番33号	TEL(092)413-6110	FAX(092)413-6120

北海道・北陸・中国・四国・沖縄地区については、本社 営業部のご相談窓口にお問い合わせください。

最新設備を備えた藤井電工総合試験所

屋外試験鉄塔群

総合試験所 内部


滝野工場

IS09001/IS014001
認証取得

No.0570・ISO 9001
No.EH08・ISO 14001

ISO 9001/ISO 14001 登録認証範囲：
墜落防止用安全帯、墜落防止装置、
通信・配電・送電線用機材の設計・
開発、製造及び販売

藤井電工株式会社